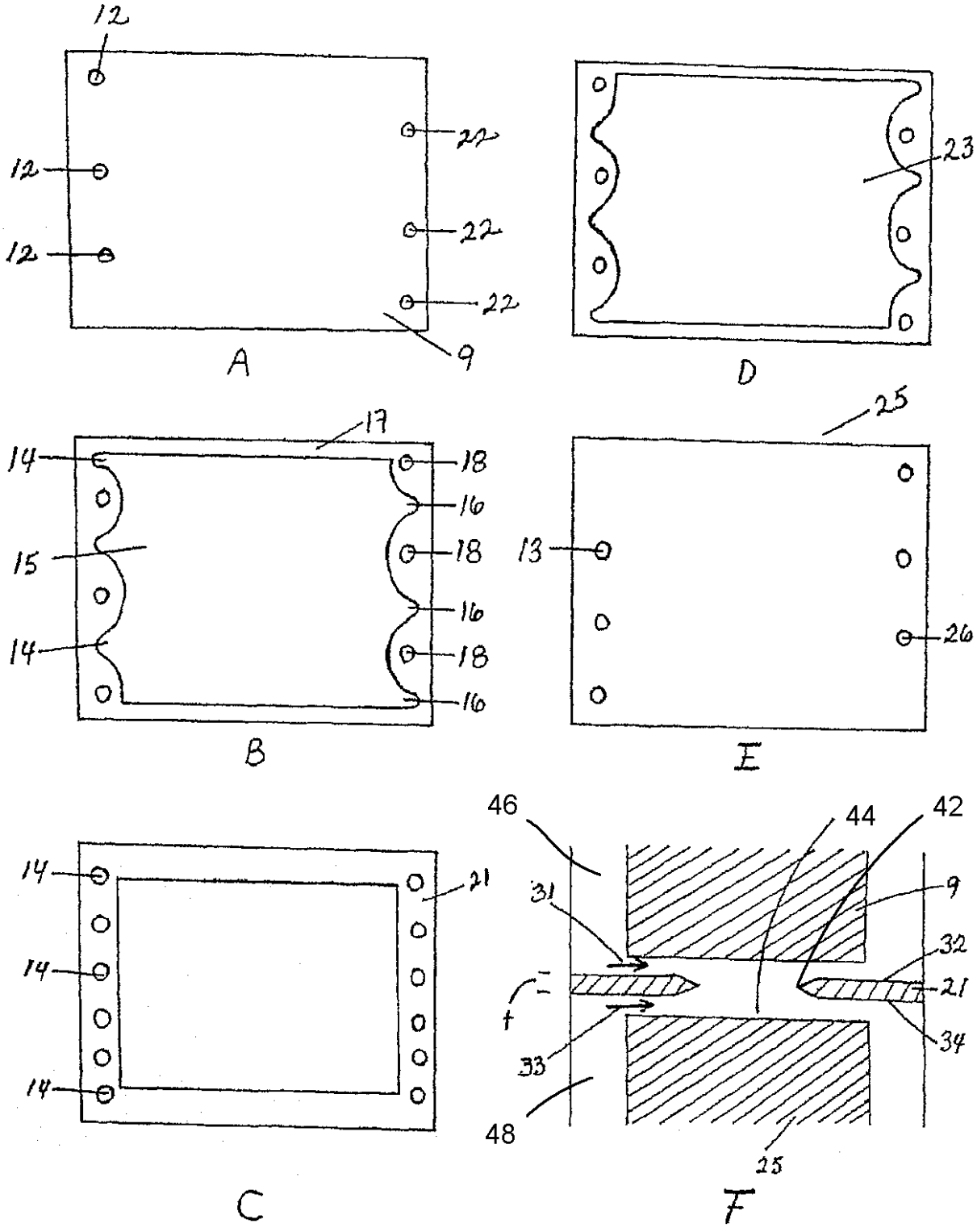
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【公表番号】特表2006-503894(P2006-503894A)
【公表日】平成18年2月2日(2006.2.2)
【年通号数】公開・登録公報2006-005
【出願番号】特願2004-546907(P2004-546907)
【国際特許分類】
***Ｃ０７Ｂ　61/00　(2006.01)***
***Ｂ０１Ｊ　19/00　(2006.01)***
***Ｂ０１Ｊ　19/24　(2006.01)***
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｂ　61/00　Ｃ
Ｂ０１Ｊ　19/00　３２１
Ｂ０１Ｊ　19/24　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年10月17日(2006.10.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
また、図２Ｆ中の２１はセパレータプレートであり、このセパレータプレート２１の表面３２、３４は、望まれる相を引きつけ且つ望まれない相を追い払ってストリーム分離をより良好にするのを補助するために異なる親水性度を有するように変性させたものであることができる。セパレータプレートの端部４２が、オープンエリア４４の１つの境界を画定する。第１相チャネル入口４６及び第２相チャネル入口４８も示す。末端プレート９及び２５は、反応チャネル天井及び反応チャネル床を形成する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
別の本発明の具体例を図５に示す。この具体例においては、不混和性ストリームのフローが入口５００及び５０３中を通る。これらのストリームは地点５０２で合流し、そこである場合にはこれらのストリームは一緒になってエマルションを形成する。典型的な相間移動反応においては、これらのストリームの内の一方又は両方にＰＴＣを含有させる。一緒にされたストリーム５０４は、一連の鋭角な（８０～１００°、好ましくは８５～９５°）曲がり角を有するマイクロチャネルを通って流れ、これらの曲がり角が微細分散液を維持する助けをすることができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９６】

【図１】相間移動触媒を有する隣り合ったストリームの概略図である。
【図２】Ａ～Ｅは、相間移動触媒反応のための積層デバイスを形成させるために積み重ねて結合させることができるシートの平面図であり、Ｆは、Ａ～Ｅのシートを積層することによって形成されるデバイスの概略断面図である。
【図３】別のシートデザインＣ’の平面図及びこの別デザインを使用したデバイスの概略断面図である。
【図４】チャネル中における相間移動触媒反応のための積層デバイス中に含ませることができるシートの平面図であり、これらのシート（Ａ”、Ｂ”及びＣ”）は図２のシートＡ～Ｃの代わり用いられる。
【図５】相間移動触媒反応用のマイクロ反応器の概略断面図であり、流体の流れも示す。
【図６ａ】多孔質イオン交換材料を有する３相系の概略図である。
【図６ｂ】図６ａにおける循環域の概略図である。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００９７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９７】
４・・・相間移動触媒
１２・・・第１相入口
１３・・・第２相入口
１４・・・第１相通路（プレート入口）
１５、２３・・・平面反応帯域
１６・・・第１相通路（プレート出口）
１７・・・境界材料
１８・・・第２相通路
２１・・・境界材料（セパレータプレート）
２２・・・第１相出口
２５・・・カバープレート
２６・・・第２相出口
３１・・・第１相ストリーム
３３・・・第２相ストリーム
１０２・・・リブ
１０６、１０８・・・チャネル
５００、５０３・・・入口
５０４・・・一緒にされたストリーム
５０５・・・疎水性壁
５０６・・・多孔質プレート又はスクリーン
５０７、５１１・・・出口
５０８・・・合体要素
５０９・・・親水性壁
５１０・・・分離ゾーン
５１５・・・セパレータプレート
６０２・・・マイクロチャネル
６０４・・・多孔質イオン性膜
６０６・・・水不混和性相
６０８・・・水相
６１０・・・境界面
６１２、６１４・・・生成物ストリーム
【手続補正５】

【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図２】




【手続補正６】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更

【補正の内容】
【図５】

